

やまぐちっ子学力向上だより

第 1 6 4 号 R8.4.14

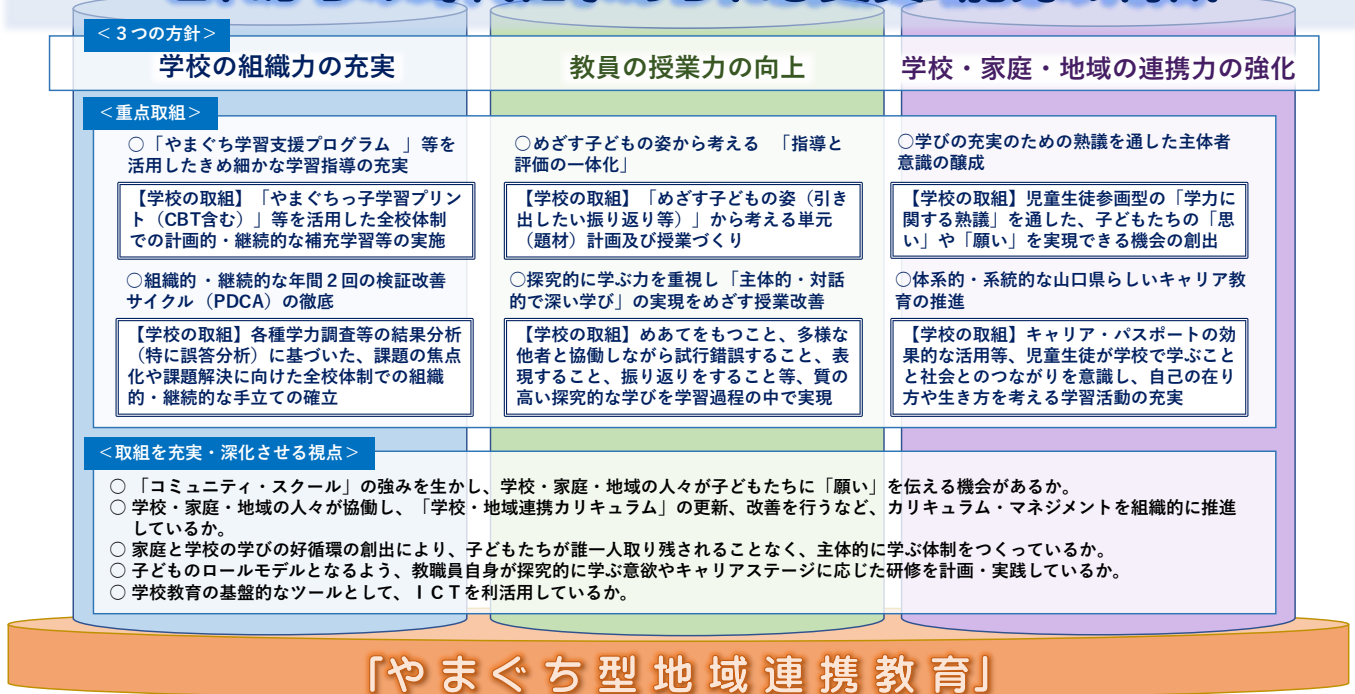
山口県教育庁義務教育課

児童生徒の確かな学力の向上と定着に向けた取組について

山口県教育委員会では、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」からの提言を踏まえ、下図【3つの方針の図】のように「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の **<3つの方針>** から、**これからの時代に求められる資質・能力の育成** に向けた体制づくりと授業改善を推進します。

【3つの方針の図】

これからの時代に求められる資質・能力の育成



「やまぐち型地域連携教育」

【3つの方針の図】について

これまで大切にしてきたことを踏まえながら、提言を受け、**これからの時代に求められる資質・能力の育成** のために必要な考え方をまとめています。

<重点取組> を進めるにあたっては、**<取組を充実・深化させる視点>** を意識し、山口県の強みを生かした教育活動が展開されるよう、本資料を御活用ください。

やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会からの提言について

なお、やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会からの提言については、山口県ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。右の二次元コードからもアクセスすることができます。



★これらの取組は、4月下旬から実施される**全国学力・学習状況調査**にもつながります。

全国学力・学習状況調査を、次の学びのスタート地点にしましょう

本年度は、国語、算数・数学の調査が紙媒体で実施される最後の年です。子どもたちにとっては、これまで身に付けた力を発揮する機会であるとともに、私たち教員にとっては、昨年度から各学校で工夫して取り組んできた取組の成果を確認する機会となります。

(1) 環境づくりが、子どもたちの力の十分な発揮につながります

調査マニュアルに記載されている指示や子どもたちの動線等を関係者全員で確認し、落ち着いた調査環境を整えるなど、全校体制での支援をお願いします。

(2) 目的の共有が、子どもたちの意欲を生み出します

子どもたちの取組姿勢は、教員の声掛けや関わりによって大きく変わります。調査の目的を子どもたちと共有し、子どもたちが自分なりのめあてをもてるようにするなど、前向きな気持ちで調査に臨めるよう、意図的に働きかけましょう。



今日の調査では、これまで頑張ってきたことのうち、どんなことを生かしたいかな。

問題をよく読んで、場面を具体的に想像しながら考えたいです。



(3) 調査実施後の振り返りが、

大切

子どもたちの自信と次の学びへの意欲につながります

調査の実施後には、子どもたちに感想を聞き交流する時間をもつなど、調査やそれまでの取組を振り返る機会を設けましょう。振り返りでは、「できた」「できなかった」だけでなく、①「なぜできたのか」、②「どうすればできるようになるか」、③「次の学びにどのように生かすのか」といった視点で振り返ることで、自信を引き出し、次の学びへの意欲につなげることが大切です。



今日のテストはどうだったかな。どうすれば解けたのかな。

この問題が難しかったけれど、今まで勉強してきたことをつなげて考えると、答えることができるかもしれないな。



★ 調査後の分析では、解説資料等を有効に活用しましょう

調査後は、各学校で誤答分析等に取り組まれていることと思います。国立教育政策研究所の解説資料や授業アイデア例を参考にするなど、資料を有効に活用しながら、引き続き、全校体制での授業改善や子どもたちの学習改善を進めていきましょう。

<問題、正答例、解説資料等の公開予定日時>

国語、算数・数学	4月23日(木)	13時頃
英語(3技能)	4月24日(金)	13時頃
英語(話すこと)	5月28日(木)	13時頃



資料はこちら